

産業開発青年隊同窓会

季刊誌：富士の如く

(編集発行人)
産業開発青年隊
同窓会長
鈴木 浩明

第2号



産業開発青年隊同窓会季刊誌第2号発行のご挨拶

産業開発青年隊同窓会 会長 鈴木 浩明

産業開発青年隊同窓会の皆様には益々ご健勝にお過ごしのことと存じます。いつになったら新型コロナの猛威が収束するのでしょうか。このように先がはっきりとわからないことに人間はストレスを感じます。しかしこのストレスとうまく付き合っていくしかないのが現状だと思います。例えば蚊に血を吸われた時かゆみを感じます。もしこのかゆみを感じることがなければ、いつまでも蚊に血を吸われる事になってしまいます。やはり何か問題が出現した時に対応できるよう、人は研究し、解決出来るようになるのではないのでしょうか。今コロナウィルスに対抗できるワクチンが開発され、医療従事者より摂取できるようになりました。これにより、コロナウィルスの猛威が収束できれば誠に喜ばしい限りです。産業開発青年隊同窓会の活動についても同様なことが言えそうです。私たちは国費をもとに教育を受けさせて頂きました。そして多くの方が日本国内はもとより世界各地に於いて活躍をされていますが、長澤先生が私たちに託してきたものがあると思います。現在の同窓会活動は再会を喜び合う親睦会、情報交換会が中心となっています。それは大変貴重ではありますが、長澤先生が私たちに託して来たことはさらに次元の高いものを要求しているのだと思います。産業開発青年隊は、中央訓練所やその他教育機関で教育訓練を受けてきた時だけでなく、さらに死する時までを産業開発青年隊として活動するよう指導されてきたのではないのでしょうか。

産業開発青年隊の誓いの言葉

- 一つ われらは 産業開発に呈して人類平和のために尽くさんことを誓う
- 一つ われらは 友愛と団結をもって理想の社会を建設せんことを誓う
- 一つ われらは 不屈の信念をもって創設の大業を達成せんことを誓う

を命尽きるまで行うこと、その活動の場が産業開発青年隊同窓会ではないかと考えます。

これから先、何ができるかわかりませんがその第一歩としてホームページを作成し、一般の方々を含め多くの方々に産業開発青年隊を理解していただくとう東海ブロック、事務局として株式会社建設システム様のご協力をいただき活動しています。今しばらくお待ちください。そしてこれはまだ私一人の考えですが、皆様方より戴く年会費、そして新たに協賛金をいただきこれを原資にして産業開発青年隊基金を設立し南米産業開発青年隊協会や東南アジアブロックの会員やご子息様との交流、災害が起こった時の義援金や産業開発青年隊同窓会の方々がボランティア活動に参加した時の義援金として、そして産業開発青年隊同窓会会員の地域ボランティアへの支援等出来ればいいのではないかと考えています。これはまだ私案であり、皆様方のご賛同がなければできないものでありますが、次の70周年記念大会までに取りまとめることができればこれを皆様方に検討していただきたいと思います。

産業開発青年隊の創設者、長澤亮太先生、そして中央訓練所創設より隊員に指導をさせていただいた吉留一利先生もお亡くなりになりました。先生方の熱い思いをこれで途切らせることなく産業開発青年隊の同志として皆様と共に活動できればと思います。皆様方のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



社会貢献

健康第一



九州ブロック朝霧会報告

産業開発青年隊同窓会 会長 鈴木 浩明

7月4日 九州ブロック朝霧会が開催されました。数日前より九州南部の線上降雨帯の影響により熊本県の球磨川が氾濫し大変な被害が発生している状況でしたが、予定通り福岡市「ねぎや」にて開催されました。参加者は私と中尾事務局長を含め3名となりました。皆様には季刊誌の事で温かいお言葉をいただき、季刊誌が届いた翌日には振り込みもして戴いた事をお聞きしました。形に残るものを作成し、内容について理解をしていただけることに感謝です。

約二時間ほどでしたが楽しくお酒をたしなみながら充実した時間を過ごしました。翌日は単独で神社仏閣を参拝しました。その帰り、たまたま信号待ちでお寺の前に停まりました。お寺の方を見ると[頭山満先生之墓所]という石碑が目が留まりました。

長澤先生の青年隊理念に多大な影響を与えた方でありましたのですぐにそのお寺に入り、線香セットを購入し墓所を探したところ、広大な敷地の中に立派なお墓をすぐに見つけることができました。「長澤先生が設立した産業開発青年隊の同窓会長を拝命させていただいてる鈴木 浩明と申します。縁あり当地を訪れ、墓参させていただけることに感謝いたします。」とご挨拶をさせていただき

お墓参りをさせていただきました。引き寄せ、引き合わせとはこの事だと思いました。思いを馳せながら、感慨に浸り帰路につきました。



吉留先生の奥様 和子さまがお亡くなりになりました

産業開発青年隊同窓会長 鈴木 浩明

吉留先生の奥様 和子さまが令和3年1月21日にお亡くなりになりました。いつも吉留先生のそばで優しい笑顔で私たちに接していただきました。また御一人、産業開発青年隊の良き理解者がお亡くなりになり誠に寂しい限りです。さて、この訃報に際し本当に不思議なことがありました。吉留和子さまがお亡くなりになった翌日、私は次のようにフェイスブックに記載しました。

「近頃色々な事が重なり、気分は落ち込み気味でした。「忘己利他」伝教大師 最澄の言葉です。我を忘れて人のために尽くす…これが究極の行いだと言われていました。ふと会社の桜を眺めていると、下の方に硬いつぼみを見つけました。寒いのにつぼみをつけて強いな…と思ひさらに上を見ると一輪だけ桜の花が咲いていました。桜は何があっても咲こうとし、時期が来ると覚悟を決めて散っていくんだな……。清い生き様の象徴の桜。

「散る桜、残る桜も散る桜」 覚悟のあるものは美しい。桜のように生きたいが弱い自分がここにいる。今 コロナウィルスの影響でつらい思いをされている方々が大量にいらっしゃるだろう。懸命に生きてても誹謗、中傷を受けている人もいらっしゃるだろう。最後の砦は使命感だけだろう。消えそうな炎を再び燃え上がらせよう。自分が一番大変ではないのだから…。精一杯頑張ろう。

これを記載している時には、吉留先生ご夫妻の事は特に想わず記載していたのですが、何気なしに見た早咲きの桜。そして吉留先生が常に口にしていた詩「散る桜、残る桜も散る桜」を何故か記載していました。

桜の花を通じて奥様を迎えに来たのでしょうか？そして、少々落ち込んでいる私を見て励ましてくれたのでしょうか？偶然にしては本当に不思議な事です。

この世には見えない力があり、いつも私たちを見守ってくれているように感じます。

吉留先生、和子さま、長い間本当にありがとうございました。これからもどうぞ応援よろしくお願ひいたします。微力ですが、産業開発青年隊同窓会活動に励んでいきたいと思ひます。

本当にありがとうございました。



「忘己利他」…「もうこりた」自分を忘れて他者の幸せのために尽力するこれが慈悲の究極の姿である、伝教大師最澄の有名な言葉です。

「己を忘れる」とは自分の都合や損得勘定を離れて、純粋に相手の立場に立って物事を見ながら対処していく態度や生き方を言います。

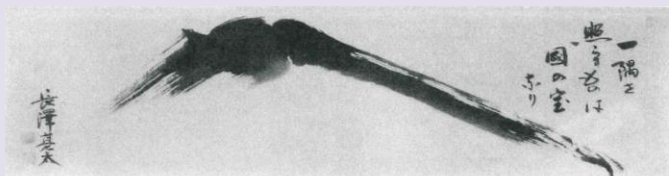
長澤先生は、各種の訓練は修験道の行であると言われてきました。

「日本人として仏教の考え方を基本として、理想の社会を建設し人類平和のために尽くす人材を育成すること。これを実践することは様々な困難に立ち向かう信念を持たなければならない。そのために修験道の苦行の要素を取り入れ、心技体を鍛える」という事が産業開発青年隊の教育理念だと思ひます。この理念は現代においても大変重要なものだと考えます。

混沌とした時代であり、コロナウィルスの為活動が制約されたり、同窓会も一部中止されたところもあります。このような状況の中ではありますが自分自身の生き方を考え直してみるいい機会が与えられたと思ひます。

素晴らしい教育を受けさせて頂いたことに感謝し、約二万余名の同窓生による同窓会活動が未永く続くことを期待しています。

ありがとうございます。



年賀状をいただきました

一部喪中のお知らせがあります

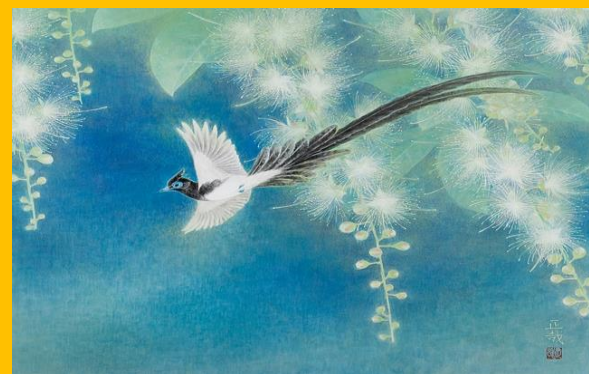
スペースの関係上 記名のみでご容赦ください

静岡県 菊川市 縣 雅尉 様	香川県 東かがわ市 長町 征滋 様
福岡県 福岡市 飯田 開治呂 様	神奈川県 厚木市 奈良 政人 様
茨城県 下妻市 飯村 征也 様	岩手県 滝沢市 西田 鉄美 様
静岡県 浜松市 池谷 政彦 様	千葉県 佐倉市 鋸屋 勝 様
群馬県 伊勢崎市 石井 隆 様	熊本県 熊本市 野崎 能啓 様
岐阜県 多治見市 井村 文彦 様	北海道 札幌市 平山 英俊 様
千葉県 松戸市 大久保 俊輝 様	北海道 釧路市 福岡 功和 様
沖縄県 北中条村 大城 律也 様	千葉県 印西市 福田 真也 様
沖縄県 中頭郡 北谷町 岡田 利浩 様	静岡県 富士宮市 本間 光信 様
岡山県 井原市 岡田 正樹 様	神奈川県 藤沢市 松平 乗行 様
熊本県 熊本市 岡部 重高 様	北海道 苫小牧市 宮永 哲郎 様
千葉県 佐倉市 小沢 順 様	静岡県 裾野市 柳瀬 徳男 様
岡山県 瀬戸内市 加藤 俊夫 様	静岡県 富士市 山元 光則 様
愛知県 西春日井郡 豊山町 北島 隆 様	以上皆様より新年の御挨拶をいただきました
東京都 渋谷区 熊谷 博憲 様	ありがとうございました
奈良県 生駒市 小宮 国盛 様	
佐賀県 伊万里市 坂本 徳助 様	
香川県 かがわ市 定好 栄 様	
山形県 鶴岡市 菅井 保彦 様	
静岡県 掛川市 杉山 修 様	
静岡県 富士宮市 鈴木 徳男 様	
群馬県 前橋市 鈴木 肇 様	
北海道 勇払郡 厚真町 鈴木 英毅 様	
広島県 神石郡 神石高原町 多賀 正幸 様	
静岡県 静岡市 竹原 伸彦 様	
静岡県 浜松市 長島 正興 様	

産業開発青年隊同窓会ホームページ立ち上げ事業報告

産業開発青年隊同窓会長 鈴木 浩明

1月15日(金)「株式会社 建設システム」におきまして産業開発青年隊同窓会のホームページ立ち上げの会合、第二回目を開催いたしました。なるべく早く立ち上げられるように努力いたします。今しばらくお待ちください。



編集委員 東海ブロック長 渡邊 喜久
皆様にはコロナ禍の中、十分な警戒と日々の健康管理にてご健勝にお過ごしのことと存じます。このコロナ禍により巣ごもり生活が余儀なくされ、活動の場も多岐にわたる思いが、その中から第2号発行の運びとなり皆様にも同窓会活動の一端をお知らせできるとお喜びしております。どうか、お身体を自愛され日々の生活に気を配り、今年度の生活に思いを込め、今年度の色々に思いを込め、今年度の行事が中止にならぬことを祈っております。今年度の刻も早い終息を願うことと、思いを込めていたつなぐたい

編集後記